

私はスズメ？

崔 泰順

私は、在日コリアン二世です。本名は崔泰順。

16歳で初めて母国語を習いだした私は、アイデンティティーに目覚め、それ以来本名で暮らしている。

社会人になってから本名を使っているといろいろと大変なこともあった。電話で「さいたいじゅんです」というと、必ずと言っていいほど、「さいたい・じゅんさんですか？」と聞かれた。その度に、「いいえ、さい・たいじゅんです」と答える。「さいはどんな漢字ですか？」「催促の催の偏のない字です」。

このやりとりを何度繰り返したことが。そして、金や李がよく知られているのに対し、「崔」はあまり知られていないのだと思った。韓国では崔が「金、李、朴」に続き4番目に多い姓だけど、知らない人が多くてもおかしくないのかもしれない。

たまに「あ、崔陽一監督と同じですね」という人がいた。有名人を通じて名字を知ってもらえることもあるということだ。

ある知人は、「ぺです」と名乗ると以前はいぶかしがられたが、ペ・ヨンジュンさんのおかげで、今はすんなり通ると笑い話のように言っていた。

パソコンの普及もあってだろうか、最近私宛てに「崔泰順様」というダイレクトメールが来るようになった。(私はスズメ(雀)？どうしてこうなるのだろう？)と驚いた。何のことはない。「山」の字と「少」が似ているからなのだが、なかなかそれに気づかなかった。

少しショックだったのは、非常勤講師をしていた大学の書類に「崔」となったり「雀」となったりすることだった。(最高学府なのに……)。そして、ハングル講座の受講生からもメールで「雀」とあったとき。

時代は大きく変わり、日本に住む外国人というと、昔はほとんど「在日コリアン」であったが、今は中国などアジアからのニューカマーをはじめ、いろんな国の人が日本で暮らしている。共生の時代となり外国人の名字も違和感なく受け入れられる時代になったようだ。

電話でも「崔です」の一言で大丈夫になった。それでも初めてのところからの郵便は「雀」で来ることもあるかもしれない。

2年ほど前、初めて買い物をした店からの案内のはがきに「雀」と来て、(また)と思ったのだが、お店で書いた私の読みにくい字に一因があったのだと気づいた。

私は今、「さい・たいじゅん」と名乗るときもあるが、できるだけ本来の読み方の「チェ・テスン」を使うようにしている。

作者 崔 泰順

題名 私はスズメ？

原典 山陽新聞夕刊エッセー

原典の掲載日 2018.11